

第35回 運動障害研究会プログラム

当番幹事 東芝林間病院 神経内科 荻野 裕

日時 2008年1月26日(土)
 時間 14:00 ~ 18:00
 場所 大日本住友製薬(株)東京本社 2階会議室
 東京都中央区京橋1丁目12番2号 TEL 03-5159-2540

14:00 ~ 14:15

製品紹介 セロトニン作動性抗不安薬「セディール」 大日本住友製薬株式会社 学術担当

SESSION I

14:15 ~ 15:30

座長 岡山旭東病院 神経内科 柏原健一

- 起床後数時間だけの眼瞼下垂と眼球偏位をきたした1例
門脇 傑, 森松暁史, 飯国洋一郎, 白田明子, 山根清美(大田熱海病院脳神経センター 神経内科)
- ミエロパチーによる痙性対麻痺に対するバクロフェン髄注療法
中島 円¹⁾, 尾原裕康¹⁾, 菅野秀宣¹⁾, 林 明人²⁾, 新井 一¹⁾
(¹⁾順天堂大学 脳神経外科, ²⁾順天堂大学大学院リハビリテーション医学)
- MRIでOpsoclonusの責任病巣が推定しえた多発性硬化症の1例
荻野美恵子¹⁾, 荻野 裕²⁾, 氏家幸子³⁾, 北村英二¹⁾, 坂井 文彦¹⁾
(¹⁾北里大学 神経内科, ²⁾東芝林間病院 神経内科, ³⁾順天堂大学 脳神経内科)
- 重症筋無力症の経過中にSIADHとPeripheral nerve hyperexcitabilityを呈した1例
二瓶義廣, 佐々木貴宏, 鈴木重明, 高橋一司, 鈴木則宏(慶応義塾大学 神経内科)
- 脳血管疾患患者の機能回復予測システム(RES-5) 回復期リハビリテーションにおける活用
中村優之, 天草万理, 武田康義, 富井豊人, 田中 敦, 中村隆一(希望病院)

SESSION II

15:40 ~ 16:40

座長 東京歯科大学市川総合病院 神経内科 野川 茂

- 病的賭博, 借金が問題化したパーキンソン病
柏原健一, 今村貴樹, 河田幸波, 大野 学(岡山旭東病院 神経内科)
- SSRIによりRabbit症候群を呈したパーキンソン病の70歳女性
小野内健司, 高木聡, 村上舞子, 栗田 正(東京慈恵会医科大学付属青戸病院 神経内科)
- 脊髄ミオクローヌスの1例
三好正浩, 伊井裕一郎, 佐々木良元, 内藤 寛(三重大学 神経内科)
- 眼球運動異常を呈した急性小脳炎の1例
渡辺俊司, 小國英一, 植草義史(茨城県立中央病院)
- 診断・治療に苦慮している不随意運動の2例
山脇健盛, 大多喜賢治, 小栗卓也, 服部 学, 松川則之, 小鹿幸生(名古屋市立大学 神経内科)

coffee break

特別講演

17:00 ~ 18:00

座長 東芝林間病院 神経内科 荻野 裕

特別講演

「不随意運動 臨床的把握と史的概説」
 平山恵造 先生(千葉大学 名誉教授, 北神経内科平山記念クリニック 顧問)